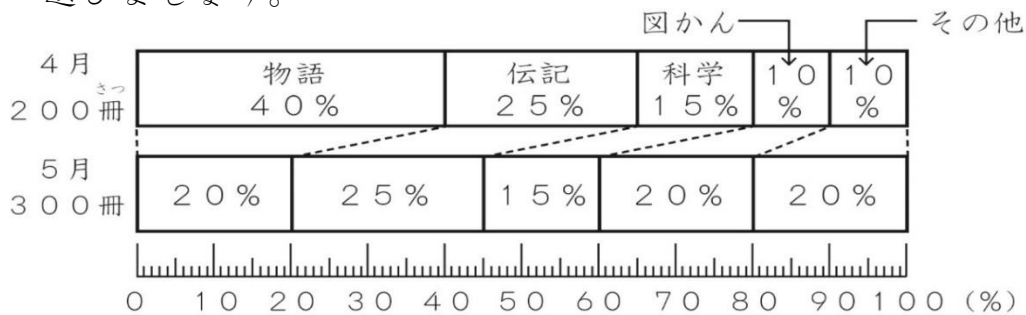


○ 調査問題

9 次の問題に答えましょう。

(2) 次のグラフは、さちこさんの学校の図書室で、4月と5月に貸し出された本を、本の種類ごとに表したものです。このグラフについて、正しいものを次の㉠から㉥の中から1つ選びましょう。



- ㉠ 貸し出された「物語」の本の冊数は、4月と比べて5月は半分になっている。
- ㉡ 貸し出された「伝記」の本の冊数は、4月と5月で変わらない。
- ㉢ 貸し出された「科学」の本の冊数は、4月と比べて5月は増えている。
- ㉣ 貸し出された「図かん」の本の冊数は、4月と比べて5月は2倍になっている。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】帯グラフを読み取り、説明として適切なものを選ぶ

【出題の趣旨】帯グラフを読み取ることができる

○ 誤答分析

解答類型	1 アを選択	2 イを選択	㉢ 正答 ウを選択	4 エを選択	0 無解答	「その他」に含まれる頻出の誤答例
反応率	37.6%	27.4%	13.9%	13.3%	7.6%	なし

- 学力レベルの中間層でも正答率が低かったことから、大半の児童にとって難しかった問題である。
- 選択肢のすべては、「貸し出された●●の本の冊数は、…」という書き出しになっており、実際の冊数を説明しているのだが、正答の㉢以外は、割合の数値の大きさをそのまま冊数とする説明になっている。基準量が異なることに留意して割合が示す冊数を比較、考察しなければならない。基準量が多い方が、同じ割合でも実際の冊数は多くなることを理解しておく必要がある。
- 誤答の性質は同じであるのに、㉡や㉣に比べて、㉠の誤答が多かったのは、帯グラフの先頭（一番左）がそろっており、視覚的に大きさ（帯グラフの幅）が半分になっていることに目がいつてしまったためではないかと考えられる。

## ○ 指導上のポイント

### 割合の意味を的確に掴ませ、グラフの割合だけで解決できることとできないことを明確にする指導

**割合とは**…基にする量（基準量）を1と見たとき、他方の量（比較量）がどれだけにあたるかを表した、数量の相対的な表し方

#### (1) 帯グラフや円グラフから特徴や良さを見つける活動

帯グラフや円グラフは今まで学習してきたグラフとどんなところが違うのかを話し合わせる。

「数値が%で表されている。全部で100%」←「実際の数量ではないみたい。」

「全体に対する部分の割合の大きさが比べやすい。」

帯グラフや円グラフは、全体をもとにしたときの各部分の割合を見たり、部分同士の割合を比べたりするのに便利。割合は、実際の数量ではないので注意する。



#### (2) 2つのグラフに表されていることを読み取る活動

基準量が違う2つのグラフから、同じ割合なのに実際の数量が違ったり、割合の大小と実際の数量の大小が逆になったりする理由を話し合わせる。（基準量が違うことは伏せておく。）

「全体の量が違うのではないか？」

「全体の量が少なかったら、少ない数量でも高い割合になるんじゃない？」

「同じ割合だと、全体の量が多いほうが実際の数量は大きくなるんだね！」

割合が同じでも、基準量が異なれば実際の数量は異なる。  
基準量が同じであれば、割合だけで実際の数量の大きさを比べることができる。



帯グラフや円グラフを読み取る時は、必ず全体の量に注意しなければいけないね！

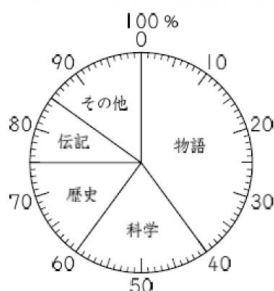


## ○ 復習シート・コバトン問題集の活用

2

あきらさんの学校で、3月に貸し出された本を調べました。下の円グラフは、貸し出された本の冊数の種類別の割合を表したものです。

3月に貸し出された本の冊数の種類別の割合



【出典】復習シート

H28・29年度 6年算数 数量関係  
レベル8・9 数量関係

(1) 「科学」の本の冊数の割合は、全体の何%ですか。答えを書きましょう。

(2) 3月に貸し出された本の冊数は620冊で、そのうち、「物語」の本の冊数の割合は、全体の40%です。「物語」の本の冊数は何冊ですか。求める式と答えを書きましょう。